

2016年4月15日発行

K



(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa  
Physical therapy Association  
News

P

4 2016  
April  
No.267

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 渡邊 観世子

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[28.3.1現在]

4,610名

## Contents

P1▶巻頭言 P2▶平成28年度のスタートにあたり P3▶会長行動報告 P4▶新人教育プログラム P10▶活動報告  
 P12▶会員ライフサポート部活動報告55報 P13▶学会情報 P14▶研修会・講習会 P16▶理事会報告  
 P21▶賛助会員の紹介 P21▶information P23▶スポーツ現場の独り言 P24▶編集後記/原稿送付先

## 巻頭言



## 人事評価と人材育成

小田原市立病院リハビリテーション室  
佐藤 隆一

シンガーソングライター高橋優さんは、メジャーデビュー間もない新人の頃、ニューヨーク・タイムズ紙に「I think the universal language of the world is not English but a smile」と「福笑い」の歌詞の一節を英訳した意見広告を掲載しました。共通する言語への挑戦でした。

2014年5月14日、総務省自治行政局長より、「地方公務員法および独立行政法人法の一部改正の法律」に関する通知が出され、2016年4月1日より人事評価制度の実施が義務づけられました。人事評価とは職員一人ひとりの職務遂行能力、仕事の結果などを（評価対象）、一定の基準と手続きに基づいて一斉かつ定期的に把握し（評価方法）、人事管理に活用する仕組み（結果の活用）のことです。目的は給与、昇給など、能力・実績に基づく人事管理を行うための基礎となるもので、個々の職員側からみれば、自らの強み・弱みを把握して、自発的な能力向上を促すことにもつながるなど、人材育成の意味を持っています。さらに評価過程において評価者と被評価者とのコミュニケーションを通じて部署内の意識の共有化や組織力の向上に寄与するものです。

2002年4月から改定された小中学校学習指導要領では、「総合的な学習の時間」が新設されました。「ねらい」は①自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること②学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること③各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活上で、それらが総合的に働けるようになることです。

この新学力観は、語彙や計算等の「解き方を暗記して繰り返す」習熟（つめこみ）の「旧学力観」よりも「興味・感性・意欲」に重さを置き、「話し合い」ながら「発見」することに主眼とする「ゼロから解き方を考えさせる」ことにあります。

今から15年前、まだ「理学療法士」が市民権を全く得られていない時代、近隣の小中学校の「総合的な学習の時間」にゲスト講師として3年間、招かれました。共通する言語で40分2コマ授業を行った後、生徒さんから頂いた感想文には「興味・感性・意欲」が感じられる内容のものばかりでした。また野球選手、ケーキ屋さん、犬の訓練士、看護師さん等々多岐にわたる自分の将来を綴った強いメッセージも盛り込まれていました。その数年後2名の理学療法士が誕生しました。

文科省によれば、2020年度から実施する予定である学習指導要領では、アクティブ・ラーニングという学習方法の取入れが検討されています。従来の「何を教えるか」という教育方法から「何ができるようになるか」という点に注目して教育する方法であり、総合的な学習の時間に近い考えとされています。

さて、受け入れる側の管理職・スタッフの皆さん、新年度から入職される方をどのように育て上げますか？「解き方を暗記して繰り返す」習熟（つめこみ）方式ですか、それとも「話し合い」ながら「発見」することに主眼を置く「ゼロから解き方を考えさせる」方式で指導しますか？知識や技術を身につけさせるのではなく、自らがものを考え、患者の変化に対応できる能力の育成を目指しますか？

いずれにせよマニュアルだけでは対応しきれない医療職において、このような学力観が違う世代が評価者と被評価者になりうる時、互いに「何ができるようになるのか」を導き出すための共通言語を発見し挑戦していくことが重要であり、それが人材育成への近道なのかもしれません。そしてそのための人事評価であってほしいものです。

28年度4月から入職された理学療法士の皆さん、ご就職おめでとうございます。神奈川県で一緒に仕事ができることを光栄に思います。

# 会長挨拶

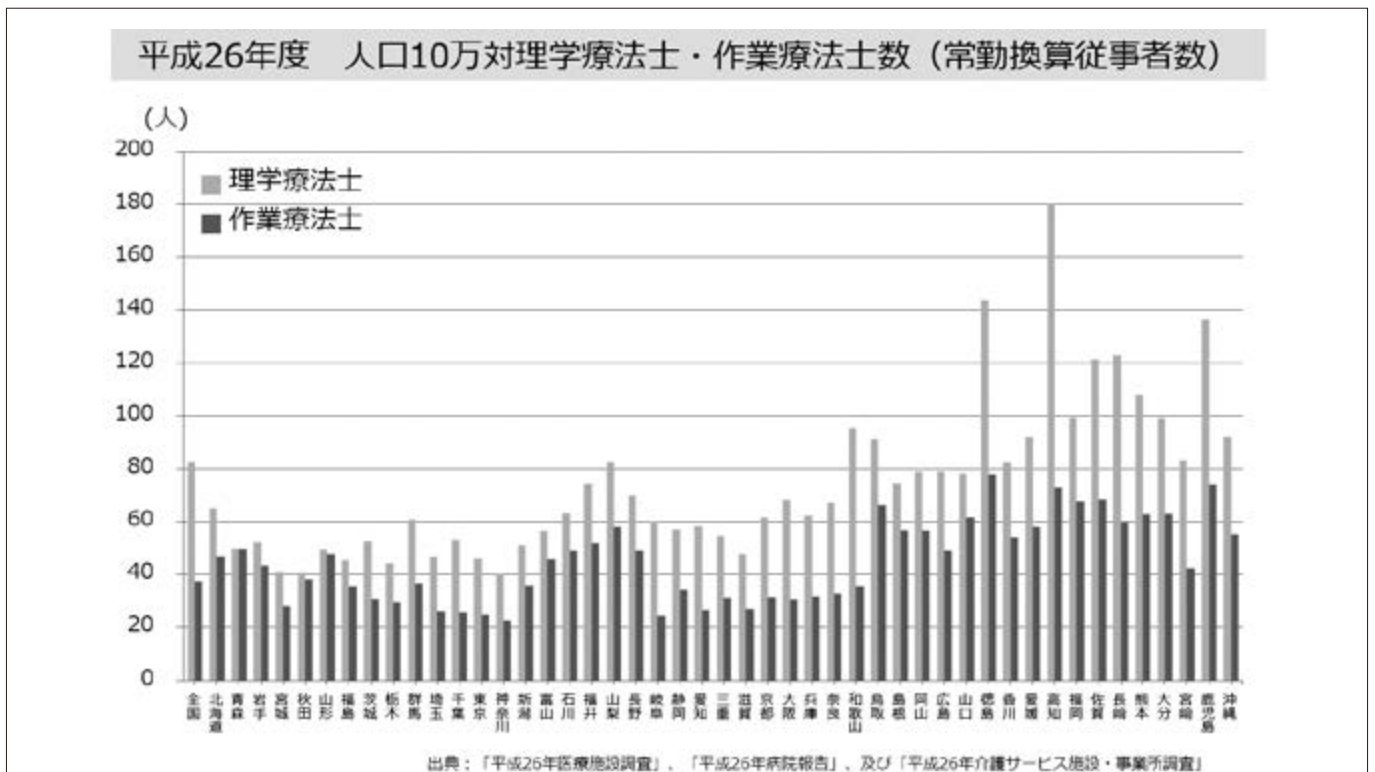
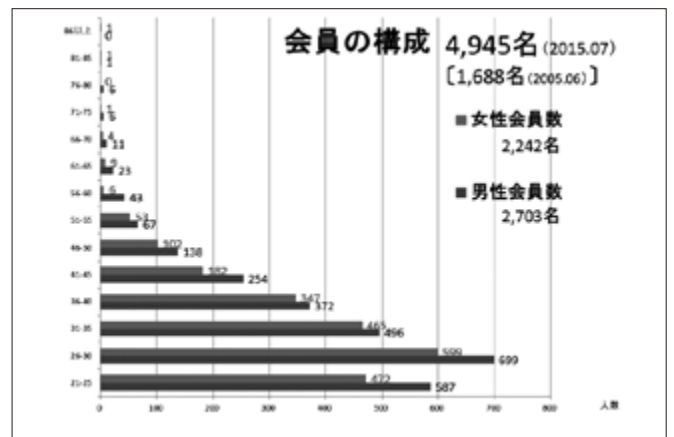
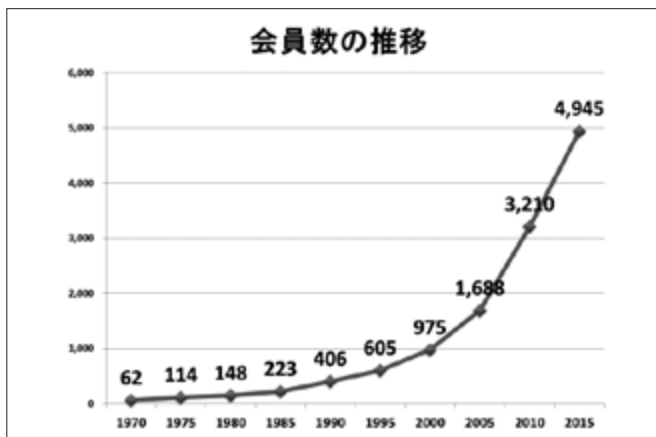
## 平成28年度のスタートにあたり

(公社) 神奈川県理学療法士会 会長 林 克郎

平成28年がスタートしすでに2か月が過ぎました。株の世界では、申年は相場が大きく変動するというのが通説のようで、年明け早々から為替と株価の話題が続いています。言い伝えの中にはかなり怪しいものも多いように感じますが、あながち間違いではないものも多くあるように思います。先人たちの洞察力のすごさを感じます。

さて、これまで本会のブロック化について皆様のご協力をお願いしてきましたが、去る3月6日に理事を含め、県内12ブロックの代表者の方、市区町村担当の方、災害エリアコーディネーターの方など約50名の方にお集まりいただき「第1回ブロック活動報告会」が開催されました。各ブロックの活動状況について意見を交換し、情報の共有化を図りました。本会議を契機により一層ブロック活動が促進され、地域での情報共有と共に会員の連携が密になっていくことを期待しています。

2月の理事会にて平成28年度予算が理事会で成立し、いよいよ新年度事業が始まります。事業計画並びに予算については、別にご報告させていただくことになっています。次の2つのグラフが、本会の事業計画の基本情報である会員数の推移、並びに年齢・男女構成になります。





会員の急激な増加は、社会における理学療法士ニーズ（需要）の高さを物語っています。この県内の需要に応じて活躍されている多くが、20代～30代の理学療法士になります。こうした年齢層の理学療法士のキャリア支援が本会に求められている大きな役割の一つと考え、平成28年度には本会が実施している研修会等が会員の皆さんのキャリアプランにどのように役立っているのか吟味したいと考えています。ちなみに、昨年より厚生労働省で始まった「医療従事者の需給に関する検討会」の資料の中に左下のグラフが含まれていました。最近までのデータでは、茨城県や埼玉県など北関東で人口10万人当たりの理学療法士の数の少ない県が多かったのですが、神奈川県理学療法士・作業療法士が共に全国で最も人口比で少ない県となっていました。全国並みの需要が見込まれるとするならば、今後ますますの会員増が予測されます。

最後に2年後の平成30年（2018年）は、2025年問題解決に向けた制度設計の大きな節目とされています。理学療法士の一人ひとりが、県民の皆様と共に生き活きと業務に携われる社会づくりが欠かせません。そのためには世の中の仕組みにもしっかりと視線を向け、当事者である理学療法士の夢や希望が失われないよう制度設計の段階から伝えるべきことはしっかりと伝えていくことが必要です。日本理学療法士協会の半田会長より次のメッセージが届きましたのでお伝えします。

## （公社）日本理学療法士協会 半田会長からのメッセージ

平成30年の医療・介護の同時改定をはじめとして、理学療法士を困む環境は厳しいものがあり、その解決のためには政治活動は避けて通ることはできません。昨年12月22日、本会副会長の「小川かつみ」氏が、今年の参議院選挙の自由民主党の公認候補として正式決定しました。小川氏は以下の「政策」を掲げて、全国展開をしているところです。10万人余の会員が力を結集するときが来ました。

1. 障害をおもちの方々や高齢者、そしてご家族に寄り添い、その方々の想いを代表し、温もりのある社会を実現します。
2. 理学療法士をはじめとするリハビリ専門職が国民から信頼され、選ばれる専門職へ社会的評価を高めるための仕組みを作り、活動の場を広げます。
3. リハビリ医療の質を担保するために、理学療法士をはじめとする医療専門職の臨床能力・資質向上プログラムを制度化します。

以上



| 月   | 日      | 内容                        | 場所              |
|-----|--------|---------------------------|-----------------|
| 12月 | 1日(木)  | 神奈川県理学療法士連盟打合せ            |                 |
|     | 2日(金)  | 第9回常任理事会                  | 事務所             |
|     | 8日(木)  | 神奈川県理学療法士連盟設立報告会          | かながわ労働プラザ       |
|     | 14日(水) | 地域組織対策本部会議                | 事務所             |
|     | 19日(月) | 第6回事業運営会議、拡大会議            | 事務所             |
|     | 22日(木) | 医師会医療推進会議                 | 神奈川県医療会館        |
| 1月  | 6日(水)  | 第10回常任理事会                 | 事務所             |
|     | 9日(土)  | 第1回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会    | 川崎市産業振興会館       |
|     | 16日(土) | 介護予防従事者研修                 | 平塚商工会議所会館       |
|     | 19日(火) | 第7回事業運営会議                 | 事務所             |
|     | 20日(水) | 神奈川県病院協会賀詞交歓会             | ホテルニューグランド      |
|     | 22日(金) | 関プロ学会準備委員会                | 横浜リハビリテーション専門学校 |
|     | 28日(木) | 神奈川県看護協会賀詞交歓会             | ロイヤルパークホテル      |
| 2月  | 3日(水)  | 第11回常任理事会                 | 事務所             |
|     | 4日(木)  | 神奈川県介護人材確保対策推進会議          | ロイヤルホール横浜       |
|     | 7日(日)  | 会員お別れの会                   | シティーホール江田       |
|     | 8日(月)  | 地域組織対策本部会議                | 事務所             |
|     | 14日(日) | (公社)日本理学療法士協会、オリ・バラ対策本部会議 | 田町カンファレンスセンター   |
|     | 16日(火) | 第5回理事会                    | 事務所             |
|     | 20日(土) | 関東甲信越ブロック協議会会長会議          | つくば国際会議場        |
|     | 21日(日) | (一社)リハビリテーション教育評価機構、研修会   | 国際医療福祉大学大学院     |
|     | 25日(木) | 関プロ学会準備委員会                | 横浜リハビリテーション専門学校 |

# 新人教育プログラム

## 平成28年度新人教育プログラムに関するお知らせ

新人教育部 生涯学習部データ管理係

新人教育プログラムは、協会入会后、会員への教育・学習環境の整備を目的として導入された制度です。平成24年度より新システムとなりましたので、日本理学療法士協会（以下、協会）および神奈川県理学療法士会（以下、本会）での新人教育プログラム修了までの流れおよび手続きについてお知らせいたします。

### I. 新人教育プログラム修了までの流れ（図）

新人教育プログラムは、計15単位を1年以上かけて履修することで修了となります。

履修単位は協会が一元管理します。

「認定・専門理学療法士」を受験するためには、新人教育プログラムを修了して専門分野（旧 専門領域研究部会）登録後2年（認定理学療法士）または5年（専門理学療法士）の期間が必要です。

#### 1. 「マイページ」による履修状況の確認について

新人教育プログラムを履修中の方は、必ず協会ホームページ内 会員専用サイト「マイページ」で自分の履修状況を確認し、取得している単位と不足している単位を確認して受講してください。

#### 2. 新人教育プログラムの修了申請について

「マイページ」内で修了済みになった方は、「マイページ」内で修了申請をしてください。“仮修了”と

なりますので、続けて専門分野への登録をすることで“修了”となります。修了すると「新人教育プログラム修了証」が協会事務局より送付されます。

### II. 新人教育プログラムの単位取得

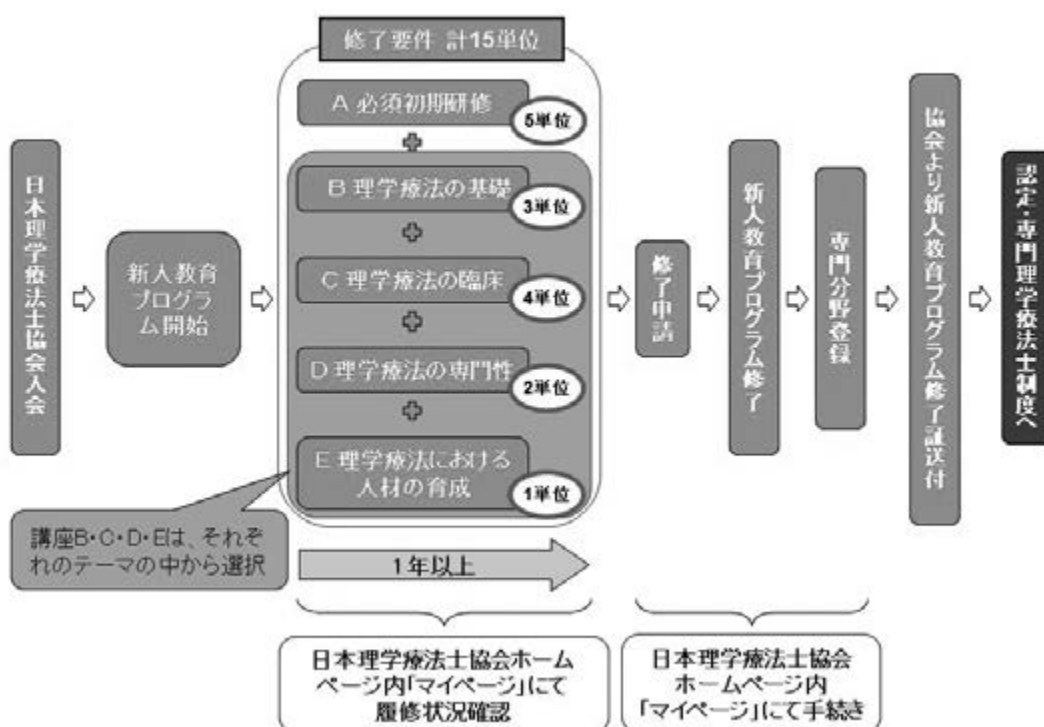
#### 1. 単位について

新人教育プログラムの修了要件は15単位の履修が必要です。

（※理学療法養成機関で学士及び高度専門士を取得した会員においては、「B-3統計方法論」および「B-4症例報告・発表の仕方」の2単位が免除され13単位です。間違っ受講の申し込みをして当日キャンセルする方が多いので、必ず「マイページ」の履修状況を確認してください。）

15単位は、必須5単位、選択10単位で構成され、新人教育プログラム対象者は、必須5単位である「必須初期研修」(A-1～5)の受講が義務づけられています。

図)新人教育プログラム修了までの流れ





選択10単位の内訳は、理学療法の基礎（B-1～4）は4テーマの中から3単位、理学療法の臨床（C-1～7）は7テーマの中から4単位、理学療法の専門性（D-1～3）は3テーマの中から2単位、理学療法における人材の育成（E-1～3）は3テーマの中から1単位を取得することになります。

なお、重複したテーマを受講しても他の単位への振り替えや追加単位としては認められません。

## 2. 受講研修会について

今年度の予定は、本会ニュース4月号「平成28年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム学術講習会・研修会予定」をご覧ください。最新の情報は本会ホームページに提示されます。また理学療法士講習会や他都道府県士会で企画される新人教育プログラム研修会でも履修可能です。協会ホームページ内「講習会・研修会情報」をご参照ください。

## 3. 申し込みについて

受講希望者は、協会ホームページの「マイページ」または本会ホームページの「申し込み方法」に従って事前登録をしてください。受付が締め切られると受講予定者データを作成する関係上、以後の申し込みや当日受付は一切できません。**Web受付にて事前登録がされると受付完了の返信メールが届きます。研修会当日は、返信メールの内容を印刷するか画面で確認できるものをご持参ください。**

ここ数年は会員数の増加のため多くの申し込みがありますが、会場の収容人数を超えた申し込みについてはお断りしております。より多くの方が受講できるように、自分の取得単位をよく確認し研修会当日のキャンセルがないようにしてください。

## 4. 協会会員証による入退室管理について

協会会員証は、受付処理および受講確認のために必要ですので必ずお持ちください。受講開始時と終了時に使用します。

## 5. 単位認定について

研修会や講習会の受付されたデータを協会へ送信

する事で、単位が付与されます。受付において受講開始時と終了時の2回協会会員証をかざすことで登録が完了します。ただし、どちらか確認できない場合は登録ができない可能性がありますのでご注意ください。なお「マイページ」には、研修会の終了後3～6週間ほどで反映されます。

### ①「C-6 症例発表」の単位認定

協会や本会主催の学会での発表は、理学療法の臨床「C-6 症例発表」：3単位が取得できます。他関連学会での発表、学術誌発表については県士会ホームページ内『理学療法士の皆様へ』⇒『生涯学習』⇒『単位・修了認定書について』⇒『新人教育プログラム「C-6 症例発表」申請認定要件』に従って申請してください。

なお、平成28年度より開催予定である新人教育部主催の「症例報告会」につきましては別途記載の通りとなりますのでご確認ください。

### ②協会・各都道府県士会主催の研修会について

協会ホームページ内の『会員の方へ』⇒『講習会・研修会情報』⇒『セミナー・講習情報閲覧画面』（<http://www.japanpt.or.jp/members/lifelonglearning/seminar/browse/>）の詳細情報にて新人教育プログラム対応かを確認して申し込みをしてください。

### ③e-ラーニングの新人教育プログラムについて

e-ラーニングとは、パソコンやインターネットなどのIT技術を活用した新しい教育システムです。平成26年度より協会によるe-ラーニングが一部開始されました。受講については上記「②協会・各都道府県司会主催の研修会について」に従って申し込みをしてください。

### ●お問い合わせ

新人教育部部長 木村充広（横須賀共済病院）  
生涯学習部データ管理係 田中健康  
（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）  
Email：data2@pt-kanagawa.or.jp



# 新人教育プログラム

## 平成28年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム

| 講座名                      | テーマ ※ 1                           | 必須選択 |    | 修了要件<br>(単位数)※7 |
|--------------------------|-----------------------------------|------|----|-----------------|
|                          |                                   | 必須   | 選択 |                 |
| 必須初期研修<br>※ 2            | A-1 理学療法と倫理                       | 1    |    | 1 ②             |
|                          | A-2 協会組織と生涯学習システム                 | 1    |    | 1 ②             |
|                          | A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む)       | 1    |    | 1 ②             |
|                          | A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む)            | 1    |    | 1 ②             |
|                          | A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む)          | 1    |    | 1 ②             |
| 理学療法の基礎<br>※ 3           | B-1 一次救命処置と基本処置                   |      | 1  | 3 ③             |
|                          | B-2 クリニカルリーズニング                   |      | 1  | ③               |
|                          | B-3 統計方法論※ 4                      |      | 1  |                 |
|                          | B-4 症例報告・発表の仕方※ 4                 |      | 1  | ④               |
| 理学療法の臨床<br>※ 3           | C-1 神経系疾患の理学療法                    |      | 1  | 4               |
|                          | C-2 運動器疾患の理学療法                    |      | 1  |                 |
|                          | C-3 内部障害の理学療法                     |      | 1  |                 |
|                          | C-4 高齢者の理学療法                      |      | 1  |                 |
|                          | C-5 地域リハビリテーション (生活環境支援含む)        |      | 1  | ※ 8             |
|                          | C-6 症例発表 ※ 5                      |      | 3  | ④               |
|                          | C-7 士会活動・社会貢献 ※ 6                 |      | 1  | ④               |
| 理学療法の専門性<br>※ 3          | D-1 社会の中の理学療法                     |      | 1  | 2               |
|                          | D-2 生涯学習と理学療法の専門領域                |      | 1  |                 |
|                          | D-3 理学療法の研究方法論 (EBPT 含む)          |      | 1  |                 |
| 理学療法における<br>人材の育成<br>※ 3 | E-1 臨床実習指導方法論                     |      | 1  | 1 ①, ⑤          |
|                          | E-2 コーチングとティーチング (コミュニケーションスキル含む) |      | 1  | ③               |
|                          | E-3 国際社会と理学療法                     |      | 1  |                 |
| 計                        |                                   |      |    | 15 ※ 9          |

- ※ 1：新人教育プログラムテーマ一覧（上表）は、新人教育プログラムにおけるテーマと修了に必要な単位数の関係を表します。
- ※ 2：「必須初期研修」（A-1～5）の5単位は必修です。
- ※ 3：選択10単位は、「理学療法の基礎」（B-1～4）：選択3単位、「理学療法の臨床」（C-1～7）：選択4単位、「理学療法の専門性」（D-1～3）：選択2単位、
- ※ 4：理学療法養成校において、学士または高度専門士取得者は免除（平成24年度入会者より該当）され取得済みとなっています。協会ホームページ
- ※ 5：PT協会または各都道府県士会主催学会での学術発表・論文発表で取得されます。他関連学会等での発表は県士会ホームページ内「生涯学習シス
- ※ 6：各都道府県理学療法士会が認定した活動への参加。県士会ホームページやニュースでご確認ください。
- ※ 7：重複した履修ポイント基準（テーマ）を受講しても振り替えや追加単位としては認められません。
- ※ 8：理学療法の臨床（C-1～5）は、下記の講習会・研修会で履修可能です。詳細は県士会ホームページやニュースでご確認ください。全国の情報は、
- ※ 9：新人教育プログラムの修了要件は、必須5単位と選択10単位の合計15単位の履修になります。協会入会1年目でも修了可能です。

### 選択研修（理学療法の臨床（C-1～5,7））に該当する講習会・研

| 新人教育プログラムテーマ   | 講習会名         | 日時  |
|----------------|--------------|-----|
| C-1 神経系疾患の理学療法 | 神経理学療法領域講習会  | 調整中 |
| C-2 運動器疾患の理学療法 | 運動器理学療法領域講習会 | 調整中 |
| C-3 内部障害の理学療法  | 内部障害領域講習会    | 調整中 |
| C-1 神経系疾患の理学療法 | 発達障害領域講習会    | 調整中 |

- ※上記の4つの講習会は同じテーマで日時・会場を変えて各2回開催予定です。平成28年4月現在の予定のため変更の可能性もあります。
- ※その他：理学療法士講習会（基本編 理論および技術のみ新プロ対象）、学術大会・ブロック理学療法士学会・都道府県士会主催研修会・講習会、都
- （県内では理学療法士講習会（基本編 理論）として「痛み・麻痺・運動機能障害に対する治療的アプローチ（5/21）」、「理学療法におけるリスク管理（7
- ※詳細および最新情報は、日本理学療法士協会ホームページ、日本理学療法士協会（JPTA）ニュース、神奈川県理学療法士会ホームページ、神奈川県



## 学術講習会・研修会予定

(新人教育部・生涯学習部・臨床実習教育部) 平成28年4月

| 研修会名<br>(該当するテーマ)                      | 開催日           | 会場                  |
|--|---------------|---------------------|
| ① 臨床実習教育研修会<br>(E-1)                   | 7月2日(土)       | 横浜リハビリテーション<br>専門学校 |
| ② 第1回新人教育プログラム研修会<br>(A-1～5)           | 7月10日(日)      | 神奈川県立<br>保健福祉大学 講堂  |
| ③ 第2回新人教育プログラム研修会<br>(B-1,2,D-2,3,E-2) | 9月25日(日)      | 調整中                 |
| ④ 第3回新人教育プログラム研修会<br>(B-4,C-6,7)       | 12月4日(日)      | 神奈川県立<br>保健福祉大学 講堂  |
| ⑤ 臨床実習教育研修会<br>(E-1)                   | 平成29年2月12日(日) | ユニコムプラザさがみはら        |

上記研修会①～⑤は、左表の①～⑤に当てはまります。

「理学療法における人材の育成」(E-1～3)：選択1単位です。

内 会員専用サイト「マイページ」にてご確認ください。

テム」申請・認定要件に従って申請してください。

協会ホームページ内の講習会・研修会情報ページ (<http://www.japanpt.or.jp/members/lifelonglearning/seminer/browse/>) 内の「セミナー講習会情報

## 修会

| テーマ                             | 講師名      | 所属                   | 会場  |
|---------------------------------|----------|----------------------|-----|
| 脳卒中の理学療法(仮)                     | 萩原 章由 先生 | 横浜市立脳卒中・<br>神経脊椎センター | 調整中 |
| 運動器疾患の理学療法(仮)                   | 調整中      | 調整中                  | 調整中 |
| 循環器疾患の理学療法(仮)                   | 松永 篤彦 先生 | 北里大学医療衛生学部           | 調整中 |
| 生まれつき障害をもっている<br>子どもへの理学療法入門(仮) | 萩原 聡 先生  | 横浜市東部地域療育<br>センター    | 調整中 |

道府県理学療法士学会、e-ラーニングにおける新人教育プログラム。

／30)」を企画しております。

理学療法士会ニュース等でご確認ください。

# 新人教育プログラム

## 平成28年度 第1回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

公社) 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度は、平成28年度の第1回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

- 開催日：平成28年7月10日（日）  
受付開始時間 9：30～（予定）
- 開催地：神奈川県立保健福祉大学 講堂
- 交通：京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分  
（案内図参照）。
- 受講費：本会会員 1,000円  
（受講単位数に関わらず一律1,000円）  
他士会会員 4,000円  
（受講単位数に関わらず一律4,000円）
- 内容：新人教育プログラム研修会

| 予定時間        | 講座名    | 研修会テーマ                         | 単位 |
|-------------|--------|--------------------------------|----|
| 10：00-11：00 | 必須初期研修 | A-1 理学療法と倫理                    | 1  |
| 11：05-12：05 | 必須初期研修 | A-2 協会組織と生涯学習システム              | 1  |
|             |        | 昼食                             |    |
| 13：00-14：00 | 必須初期研修 | A-3 リスクマネジメント<br>（安全管理と感染予防含む） | 1  |
| 14：05-15：05 | 必須初期研修 | A-4 人間関係及び接遇<br>（労働衛生含む）       | 1  |
| 15：10-16：10 | 必須初期研修 | A-5 理学療法における<br>関連法規（労働法含む）    | 1  |

- 申込方法：事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。

登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。A-1～5は独立した研修会ですので各々の登録が必要になります。

受講登録が済みますと自動返信メールがお手元に届きますので返信内容をお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。

自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報くださいますようお願いいたします。

新人教育プログラム研修会では、受付の際に登録の完了が確認できなければ受講をお断りしております。

※新人会員の皆様へ：会員証とID・PWは全ての研修会・講習会に必要です。お早目の会員登録をお願いします。

- 申請テーマのキャンセル：

事前登録で申請したテーマ以外への変更および当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。

やむを得ずキャンセルしなければならない場

合は、研修日以前は本会事務局（office@pt-kanagawa.or.jp）へ、

研修会当日は専用PHS：#070-5020-9036まで必ずご連絡ください。

- 講義資料：日本理学療法士協会HPの「マイページ」よりダウンロードしご持参下さい。

資料は必ずお持ちください。お忘れの方には受講をお断りすることもあります。

- 定員：400名（先着順）

- 申し込み期間：

申込開始日：平成28年6月6日（月）

申込締切日：平成28年7月4日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いいたします。

テーマAに対応する「必須初期研修」は1回／年の開催となります。未受講の方の積極的な申し込みをお待ちしております。

注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。

注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。

注) 研修終了時に改めて終了受付があります。終了受付を済ませずに帰宅すると、単位認定できない場合がありますので注意してください。

注) 昼食は各自でご用意ください。（ロービーでの飲食は可能ですが、ホール内での飲食は厳禁となっています）

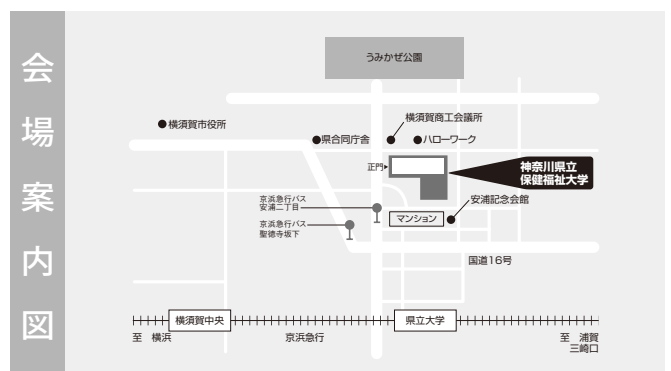
問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科

E-mail：reha-ykh@ykh.gr.jp

新人教育部 部長：木村 充広

公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局

E-Mail：office@pt-kanagawa.or.jp







# 【本会限定！】新人教育部主催の「新人症例報告会」はじまります！

新人教育部 部長 木村 充広

今年度より新人教育プログラム研修会（以下、新プロ）で症例報告を行うと新プロテーマ「理学療法の臨床：Cの4単位」が取得可能となります。（年1回開催）

新プロテーマ「理学療法の臨床：C」は、それぞれの専門分野で開催される研修会への出席や症例発表などと併せて4単位の取得が履修要件とされています。

新人教育部では、今年度から主催する「新人症例報告会」の発表をもって4単位すべての付与を認めることになりました。これは「C-6：症例発表」の3単位と「C-7：士会活動・社会貢献」1単位分を合わせた単位認定となり、聴講のみの参加者にもC-7の1単位を付与いたします。

なお、新人症例報告会は1～3年目を対象とし、12月の初旬に実施される第3回新人教育プログラム研修会の中で開催を予定しております。会場の都合上、報告数には限りがありますので受付は先着順といたします。あらかじめご了承ください。みなさまの積極的な参加をお待ちしています。

※新プロの規定単位数の変更はありません。

※詳細は本会HPまたは県士会ニュースでご確認ください。

## ～新人症例報告会への誘い～

新人教育部 部長 木村 充広

**症** 例報告会の目的は、本会の若手理学療法士を対象に最適な理学療法を選択できる能力を育成し、臨床における問題点を把握し解決していく能力を向上させることです。実際には新プロ研修会の一部として行い、積極かつ建設的な発表、質疑を通常の集合研修スタイルで行います。報告の場では新人教育部が主体的に働きかけ、発表者の理解を深めるとともにその結果を日々の臨床に反映できるようサポートします。

**例** 外なく理学療法士は対象者の生活支援や目標のために対処し、生のカラダに直接的な介入を施すことができる数少ない専門職の一つです。国で定めた一定基準のカリキュラムを修了し臨床活動に従事している我々ですが、業務の特性上、病態や障害像を捉える過程は個々で異なることも事実です。そうした中で、妥当な評価結果や治療手段を導き出すためには経験や勘に傾倒しないのは無論のこと、生涯学習の立場に立って知識や技術を研鑽するとともに、日々向き合っている症例をオープンに検討の場に提示する姿勢が求められます。

**報** 告となると、希な症例や治療介入が奏功した例を想像されるかと思いますが、新人症例報告会ではそれらを問われることはありません。あくまで本会若手理学療

法士の育成を目的としている観点から「今、そこにある障害像をどう捉えるか」を学ぶことを優先します。

**告** 告って気が重い…、と感じられる方も多いかと思いますが（確かに大変な作業ではありますが…）、発表することで自分自身や同一施設内でのフィードバックとは異なる意見をもらうことで多くの『気づき』を得ることができます。また、まとめる過程の中で再度症例と向き合い、掘り下げ、他者に説明することで外在化する、そこで新たに気づく、本当の意味で整理できることも多いのではないのでしょうか。それらの経験から、その後の類似症例に対してステップアップした対応が可能となり、その専門性を社会に還元できるのだと思います。**誘** いに乗ってみませんか？終了時には、いつもと違う何かに出会っているかもしれませんよ！報告は単一症例に限らず複数症例あるいは類似症例を集めて発表されても構いません。応募方法等、詳細につきましては次号以降の本会ニュース、ホームページでご案内いたします。本会の新人教育プログラムを有効利用し、臨床家として実りある一歩を踏み出してください。

みなさんのエントリーを心よりお待ちしております！



## 活動報告

### 広報部からの活動報告

北新横浜整形外科・外科 伊藤 智一

広報部は現在広報物品・冊子に関する制作ならびに管理、当会のイベント・活動を広報する活動を行っております。

広報冊子は日本理学療法士会から配布されます「笑顔をあきらめない」の冊子やリーフレット、国民向け予防ガイド、理学療法フェスタに関連したイベントカレンダーやパンフレットがございます。物品は当会ロゴマークを入れた風船・トートバックなどを制作しております。

昨年度は7～8月に行っております理学療法フェスタを一般県民に広く知ってもらうために新聞各社への情報提供も実施いたしました。

今年度は当会のパンフレットを作成予定で、いろいろな方々の意見を取り入れたいとの考えから部員を募集することとな

りました。年数回事務局での会議・メールでの連絡にて活動を行っております。

ご興味ある方はkoho@pt-kanagawa.co.jpまでご連絡をお願いいたします。



### (公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 講師派遣事業 厚愛地区介護老人保健施設連絡協議会 リハビリテーション部会研修会に参加しました。

災害対策委員会 下田 栄次

平成28年2月10日(水) 医療法人聖和会介護老人保健施設「さくら」におきまして「災害時におけるリハビリテーション

の役割について」をテーマに厚木市内の介護老人保健施設に勤務しているリハビリテーションスタッフの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を対象に、災害時における支援体制を検討する研修会の講師を担当させていただきました。



今回は、災害時リハビリテーション支援の概要および当会災害対策委員会活動事業の紹介と介護老人保健施設のリハビリテーションスタッフが平時より備えておくべき事項について、ディスカッション形式で積極的な意見交換を行いました。特に避難所の設営や運営、また避難行動支援や在宅被災者に対して準備しておくべき事や、発災後から支援活動を行うまでの具体的な方法を検討しました。

災害対策委員会では災害支援対策関連の勉強会、研修会の講師派遣を承っております。興味のある方は積極的にお声かけ下さいます様、お願い致します。

### (公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 JIMTEF 災害医療研修に参加しました

災害対策委員会 今川 祐子

JIMTEF災害医療研修ベーシックコースに災害対策委員会より2名、アドバンスコースに3名が参加しました。

ベーシックコースのプログラムは災害医療概論に加え、グループワークにて急性期及び亜急性期～慢性期に各職種として何が出来るかを検討し、避難所運営ゲームを行いました。アドバンスコースは国内だけでなく国際的な人道支援を学び、

災害対策本部運営と記録を実践的に行いました。

どちらのコースも全国から、多職種が参加されており、職種を超えての積極的な学習がなされました。

コースに参加した内容を士会の業務に活かせる様、今後も災害対策委員会の活動に取り組んで参ります。



## (公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 県西地区災害対策キャラバンが開催されました。

災害対策委員会 下田 栄次

去る平成28年2月28日(日) 国際医療福祉大学小田原キャンパスにおきまして「災害対策委員会 県西地区災害対策キャラバン」が開催されました。

昨年度より神奈川県内における二次医療圏域に準じた形で、本会独自に地域ブロックごとの災害時における連絡・調整担当(エリアコーディネーター)を配置しました。有事の際には、有効に機能する災害リハビリテーション支援ネットワークを構築していくために、鎌倉・大船地区、平塚・湘南西部地区、川崎北部地区に続く第4回目として県西地区を対象とした災害対策キャラバンを開催しました。

講師には小田原市防災対策課より伊藤康浩氏、健康づくり課より保健師の古瀬薫氏に加え、パキスタンや中国といった国内外における災害支援経験をもつ三浦和氏を迎え、小田原市地域防災計画を中心に災害時の支援体制について(伊藤氏)、保健師の具体的な平時の地域保健活動から災害時要援護者支援体制について(古瀬氏)、避難所や福祉避難所におけるリハビリテーションとの連携について(三浦氏)お話をいただきました。

平成23年の東日本大震災においては、被災地全体の死者数のうち65才以上の高齢者の死者数は約6割であり、障がい者の死亡率は被災住民全体の死亡率の約2倍に上るといわれています。災害への対応能力の弱い要配慮者は、情報の入手や自力での避難が困難なため、大きな被害を受ける可能性が高く、支援体制を構築することが急務となっています。小田原市では「小田原市要配慮者支援マ



ニユアル」を策定し、平常時からの災害発生への備えや災害発生後の初動体制の充実に向けた取り組みが地域ぐるみで行われています。伊藤氏からは「自分自身が被災者にならないように!」と自分、そして家族を守るための防災のポイントについてお話いただきました。古瀬氏からは、住民の方に対するさまざまな健康支援が災害時の対応にもつながる事の重要性について、三浦氏からは、避難所や福祉避難所のリハビリテーション職種の積極的な活用について、その必要性を強く訴えられていました。

また今回は目玉企画として、別ブースにて小田原市における災害関連情報の展示に加え、災害時便利グッズ(非常用トイレ・防災用品)や福祉用具の展示、講演後に横瀬英里子氏による段ボールベッドの展開デモンストラクションも行いました。他職種関連団体の取り組みを知る、防災用品や災害時に役立つさまざまな生活環境支援用品に触れる機会となりました。

当会県西地区ブロック長(エリアコーディネーター兼務)として事前の打ち合わせから積極的な広報をしていただきました前田大助氏、会場の手配・調整を引き受けてくださいました国際医療福祉大学小田原キャンパスの三浦和氏と当日の運営を手伝っていただいたスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。

次年度も災害対策研修会と各ブロックを対象にした災害対策キャラバンを予定しています。より多くの方々のご参加をお願い致します。



## 第33回神奈川県理学療法士学会を終えて

第33回神奈川県理学療法士学会 学会長 松本 肇

平成28年3月13日(日)に、パシフィコ横浜にて第33回神奈川県理学療法士学会が開催されました。学会当日は、神奈川県立保健福祉大学の長澤弘教授の教育講演に始まり、106演題の発表が行われ、参加者数は695名を記録し、成功裏に収める事が出来ました。学会運営にあたり、林会長・内田担当理事・山崎担当理事をはじめとした県士会理事の先生方や学術大会部の先生方の多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

次回(第34回)は横須賀・三浦ブロックから、横須賀共済病院の渡部政司先生が学会長を務められます。渡部先生、一年間よろしくお願いたします。我々第33回準備委員(7名)は、最後のお仕事として第34回準備委員への申し送り資料を鋭意作成中です。今回の反省を糧にさせていただき、より効率的・効果的な学会運営が行われます事を切に願っております。

最後に、今回参加された会員の方々も、残念ながら参加を見合わせた方々も、第34回は是非参加下さいますようお願いいたします。以上

## 活動報告



# 子供と一緒に参加する研修会場 ～サテライト会場～

ライフサポート部 寺尾詩子

会員ライフサポート部  
活動報告  
職場環境を考える

第55報

今回は、託児室を設置しない代わりに、子供連れで研修を受けられる会場の設置にトライしました。

これは、やってみたら「好評だったよ」と教えていただいたこと、研修会会場の国際医療福祉大学の先生方が快く引き受けてくださったことで実現することができました。

研修会は、平成27年12月13日（日）13：00～16：00に開催された生涯学習部の企画による「神経理学療法領域講習会 ～脳画像の読影と理学療法への応用～」です。講師は国際医療福祉大学の太田優慈先生で、会場も小田原駅近くに立地する国際医療福祉大学でした。

サテライト会場の利用者は2家族で、7か月と3歳の2人の女の子とそのお母さんたちの参加となりました。

本会場とサテライト会場は別の階でしたが、サテライト会場でも、スライド映像がモニターに大きく映され非常に見やすく、もう1つのモニターは四分分割されて黒板とサテライト会場全体の映像が映っていました。サテライト会場の様子も本会場のモニターに映っているとのことでした。音声は明瞭でしたが、音量が大きすぎるかも心配でしたが、逆に周囲の様子を気にせず、集中して講義を聞いたり、子供の様子を見たり、席を立ってあやしたりなど、周囲に迷惑をかけずに行えていると感じました。私はスタッフとしてサテライト会場にいました。講義はわかりやすく、子供たちもお母さんたちも落ち着いていたので、割と集中して

受講できてしまいました。

利用者からは、「これまで近くの研修で子供と参加できる機会はなかったので、初めて研修に参加できた。」「冬場は感染症も流行りやすいので、子供同士の接触が少ないサテライトの方がよいと思い参加した。」「育休中は完全に理学療法の世界から離れてしまうので、少しでも講習会などで理学療法士の世界に触れておきたかった。」と普段は参加できない環境の方々の参加につなげることができ、企画してよかったです。完全に集中して勉強するという訳にはいかず、講習会は3時間に及び、子供には負担が大きい面もあります。一方で、会場の環境さえあれば、安価で設置できるので、今後も、継続して企画していきたいと思っています。

皆様から、サテライト会場設置ができそうな会場がありましたら、情報いただければありがたいです。情報お待ちしております。（☒ lifesupport@pt-kanagawa.or.jp）



## ■ アンケート調査結果 ～第1報～ ■

昨年の夏に、本会会員の所属する施設毎に「産休・育休取得中の人員確保に関する調査」を実施しました。339施設からご回答いただき、本当にご協力ありがとうございました。

6年前にも施設単位で「女性の雇用に関する意識調査」を行いました。その時より県士会会員が所属する施設数は増え、育児適齢期の女性理学療法士も着実に増えています。施設分類に関係なく育児と仕事を両立するための制度の利用実績も進んでいます。しかし、就業環境に関しては両立がしやすい施設整備や人員確保ができていると答える施設は少なく、対応に苦慮している施設は多いことには変わりありませんでした。育児と仕事を両立していくことを受け入れていく意識は高まってきているものの、現場の負担感が変わっておらず、両立中の人にとっても、そうでない人にとってもつらいことです。直接人員確保につながる対策は難しい状況ではありますが、この現状について声を挙げ続けていくこと、各施設での対策や考え方を少しずつでも情報収集してまとめられればと思っています。



News

主催：公益社団法人 日本理学療法士協会 関東甲信越ブロック協議会  
担当：公益社団法人 神奈川県理学療法士会



## 第35回 関東甲信越ブロック理学療法士学会のお知らせ

おかげさまで**35周年** 今年は **神奈川** が担当します



会 期 2016年10月29日(土)～30日(日)

会 場 パシフィコ横浜

学 会 長 **林 克郎** 横浜リハビリテーション専門学校  
神奈川県理学療法士会会長

副学会長 **小山理恵子** 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院  
準備委員長

テーマ  
**生き生きと、活き活きと、粹々と**

— 2020年、2025年への展望 —

講演内容が決定しました!!

- 基調講演：2025年問題にむけての課題、理学療法士が取り組むべきこと  
講師：川越 雅弘 (国立社会保障・人口問題研究所 社会保障基礎理論研究部)
- シンポジウム：理学療法士によるスポーツ現場への関わり方  
—その実際とこれから—  
講師：加藤 知生 (桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツテクノロジー学科)  
小泉 圭介 (日本スポーツ振興センターマルチサポート事業)  
地神 裕史 (国土館大学理工学部健康医工学系)
- 教育講演：
  - 1) 脳画像所見にもとづいて症状と予後と推測して理学療法を計画する  
講師：手塚 純一 (川崎幸病院 リハビリテーション科)
  - 2) 呼吸循環障害とその管理状況を把握して理学療法を計画する  
講師：木村 雅彦 (北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法学専攻)
- 市民公開講座：自分の可能性を求めて～2020年に向けて～  
講師：成田 真由美 (パラリンピック 競泳メダリスト)

事前参加登録開始日：3月23日(水)～

演題登録期間：3月23日(水)～4月27日(水)

詳細は本会ホームページを参照ください。 <http://kanburo35.umin.jp>

# 研修会・講習会

## ●県士会主催

### 臨床実習教育部研修会のご案内

**テーマ：**臨床実習に求めるもの～現状と問題点～  
**内容：**臨床実習は、学生が知識と技術を統合し総合的な実践力を養う場であり、卒前教育において極めて重要なものです。臨床実習教育の到達目標や展開方法に関しては、「理学療法教育ガイドライン（第1版）」に記載されていますが、実際には各養成校による相違や実習学生の知識・情意面の違いから、臨床実習教育を展開するうえで生じる問題は様々です。  
 そこで、本研修会では「臨床実習に求めるもの～現状と問題点～」のテーマのもと、島津尚子先生、中村啓文先生にご講演いただきます。島津先生には、臨床実習指導者および教員としての両者のご経験から、学内教育と臨床教育の相違や学生の学習態度の相違についてお話しいただく予定です。中村先生からは、主に臨床実習における評価に関してお話しいただき、評価表改訂の経緯や改訂版評価表を用いた評価内容についてもご紹介いただく予定です。  
 今回の研修会はワークショップ形式をとり、多くの意見を交換できる場としたいと思っております。多数のご参加をお待ちしております。

**講師：**島津 尚子 先生（神奈川県立保健福祉大学）  
 中村 啓文 先生（横浜リハビリテーション専門学校）  
**開催日時：**平成28年7月2日（土）13時～16時  
 （受付開始12:30～）  
**会場名：**横浜リハビリテーション専門学校  
 （JR横須賀線、湘南新宿ライン 東戸塚駅東口：徒歩3分）  
**参加費：**無料  
**対象者：**（公社）神奈川県理学療法士会会員  
**単位認定：**履修ポイントの最新情報については、本会ホームページで確認してください。  
**申込方法：**日本理学療法士協会「マイページ」から、事前web登録をお願い致します。  
 神奈川県理学療法士会ウェブサイト[講習会・研修会・イベント情報]をご参照ください。  
**定員：**80名  
**登録期間：**平成28年4月26日（火）～平成28年6月24日（金）  
**お問合せ：**E-mail: rinsho-jisshu@pt-kanagawa.or.jp  
 臨床実習教育部長 坂本美喜（北里大学医療衛生学部）

### 平成28年度 神奈川リハビリテーション病院「臨床研修」の募集のご案内

当院では理学療法士を対象とする「Ⅰ：卒後臨床研修」、「Ⅱ：専門臨床研修」を計画しておりますので、ご案内させていただきます。

#### Ⅰ：卒後臨床研修

**目的：**当院の特徴である整形外科疾患・脊髄損傷・外傷性脳損傷等の評価と治療を通して、基礎的な理学療法技術の習得を目指す。  
**対象：**臨床経験4年未満の県内理学療法士  
**研修内容：**治療研修・基礎的な理学療法技術研修（講義と実技）・症例検討  
**期日：**平成28年7月25日～7月29日（月～金曜日、1週間）  
**費用：**20,000円  
**募集人数：**4名  
**講師：**当院理学療法士 他

#### Ⅱ：専門臨床研修

**目的：**疾患別理学療法技術（①脊髄損傷②変形性股関節症③外傷性脳損傷）の研修と交流  
**対象：**臨床経験4年以上の理学療法士  
**研修内容：**治療研修・専門的な理学療法技術研修（講義と実技）・症例検討  
**期日：**平成28年8月1日～8月5日（月～金曜日、1週間）  
**費用：**20,000円  
**募集人数：**4名  
**講師：**当院理学療法士 他

募集要項は当院ホームページにて掲載します。詳細につきましては下記までe-mailにてお問い合わせください。

**締め切り：**ⅠとⅡともに平成28年7月4日（月）  
**問い合わせ先：**神奈川リハビリテーション病院 理学療法科 浅井直樹  
 E-mail: kanapt@kanagawa-rehab.or.jp

**ホームページ：**<http://www.kanariha-hp.kanagawa-rehab.or.jp/>

**主催：**神奈川リハビリテーション病院

**後援：**神奈川県理学療法士会



## ●他団体

### 触診が不安な方の為の触診セミナー/bodyworkセミナー

| タイトル   | テーマ・内容  | 日時  | 受講料                                | 講師・申し込み   |
|--|---|---|------------------------------------|---|
| 触診が苦手な方限定<br>骨の触診セミナー<br>基礎編                     | 脊柱の棘突起触れますか？<br>アライメントの評価に必須のポイントです。少人数制であなたも棘突起が触れるようになりモビライゼーションまでできるようになる骨の基礎編<br>【このセミナーでは確かな骨指標の触察技術の習得とそれに基づいた 関節モビライゼーション、体の使い方について学んでいただきます】<br>・触診が効果的にできるための7つのコツ<br>・触診のための手のコンディショニング<br>・触診のための股関節のコンディショニング<br>・治療につなげる触診 : 上後腸骨棘、腸骨稜、頸椎～腰椎棘突起<br>・棘突起の触診を使った関節モビライゼーション<br>【受講者特典】<br>セミナー動画、触診チャート  | 4月23日(土)<br>7月23日(土)<br>8月28日(日)<br>9月24日(土)<br>10月23日(日)<br>全て9時30分～16時30分<br>(昼休憩1時間)<br>※内容は全て同じです。ご都合のつく回にお申込みください。                     | 7,800円                             |   |
| 触診が苦手な方限定<br>筋の触診セミナー<br>基礎編                     | 大腰筋、実は簡単に触れるのをご存知ですか？<br>多裂筋もある部分では体表から触れるんです。<br>少人数制であなたも触れるようになり筋膜のリリースまでできるようになる筋の触診セミナー基礎編<br>【内容】 【セミナー詳細】<br>・触診が効果的にできるためのコアマッスルの活性化:横隔膜・腹横筋・骨盤底筋・多裂筋<br>・治療につなげる触診 : 最長筋、腸筋、多裂筋、大腰筋<br>・筋膜リリース:大腰筋、多裂筋<br>【受講者特典】<br>セミナー動画、触診チャート   | 4月24日(日)<br>7月24日(日)<br>8月27日(土)<br>9月25日(日)<br>10月22日(土)<br>全て9時30分～16時30分<br>(昼休憩1時間)<br>※内容は全て同じです。ご都合のつく回にお申込みください。<br>※平成28年内は再受講無料です。 | 7,800円                             | 【講師】<br>大塚 久・山崎 瞬<br>【定員】<br>24名限定(触診部位を講師が一人ひとり確認するため少人数にしています)<br>【注意事項】<br>お申込みは セミナー HP<br><a href="http://lts-seminar.jp/h28seminar/">http://lts-seminar.jp/h28seminar/</a><br>または ・氏名、・所属、・経験年数、・職種、・電話番号、・メールアドレスをご記入の上(lts-info@lts-seminar.jp)までご連絡ください。                       |
| 触診が苦手な方限定<br>筋の触診セミナー<br>臨床編                     | 頸部の周囲で重要な胸鎖乳突筋、斜角筋を触れますか？臨床上とても重要な部位の筋の触診を行います。少人数制であなたも触れるようになり筋膜リリースまでできるようになる筋の触診セミナー臨床編<br>【内容】<br>・治療につなげる触診:胸鎖乳突筋、前・中斜角筋、棘下筋、大腰筋、多裂筋、膝窩筋、膝蓋下脂肪体<br>・筋膜リリース : 胸鎖乳突筋、前・中斜角筋、棘下筋、大腰筋、多裂筋、膝窩筋、膝蓋下脂肪体、足底筋膜<br>【受講者特典】<br>セミナー動画、触診チャート   | 第1回 平成28年 5月29日(日)<br>第2回 平成28年 6月25日(土)<br>全て9時30分～16時30分<br>(昼休憩1時間)<br>※内容は全て同じです。ご都合のつく回にお申込みください。<br>※平成28年内は再受講無料です。                  | 9,800円                             |   |
| 触診が苦手な方限定<br>骨の触診セミナー<br>臨床編                     | 主要な関節の骨の触診できますか？臨床上とても重要な部位の骨の触診を行います。少人数制であなたも触れるようになり関節モビライゼーションまでできるようになる骨の触診セミナー臨床編<br>【内容】<br>・治療につなげる触診:第2頸椎、第7頸椎、胸鎖関節、肩甲骨腕関節、腕橈関節、月状骨、舟状骨<br>大腿骨大転子上縁、近位脛腓関節、リスフラン関節<br>・関節モビライゼーション : 脊柱、胸鎖関節、肩甲骨腕関節、腕橈関節、手根骨<br>大腿骨大転子上縁、近位脛腓関節、リスフラン関節<br>【受講者特典】<br>セミナー動画、触診チャート  | 第1回 平成28年 5月28日(土)<br>第2回 平成28年 6月26日(日)<br>全て9時30分～16時30分<br>(昼休憩1時間)<br>※内容は全て同じです。ご都合のつく回にお申込みください。<br>※平成28年内は再受講無料です。                  | 9,800円                             |   |
| 治療・動作分析・<br>運動療法をより<br>効果的にするための<br>bodyworkセミナー | そもそも自分の身体を効率的に使えないのに、患者様、利用者様に効率的な動作を伝えることができますか？ 療法士は動作分析の専門家です。より動作分析の精度を上げるために自身の身体の動作から変えてみましょう。<br>【内容】<br>5月21日(土)アレクサンダーテクニック<br>・施術中に首・肩・腰・腕への違和感を減らす<br>・案に低い姿勢でセッションする<br>・実際の施術への応用等<br>5月22日(日)ロルフイング<br>1.ロルフイングのコンセプトの臨床への応用<br>・自分の身体で「場」を作る<br>2.手足からのコアの活性化<br>・ロルフイングの5原則<br>3.ロルフイングのワークの運動療法への応用<br>・変化に必要な「気づき」を引き出すキューイング<br>・「ニーベンド」と「エルポーナッジ」 | 1日目 平成28年5月21日(土)<br>アレクサンダーテクニック<br>2日目 平成28年5月22日(日)<br>ロルフイング  | 1日のみ<br>12,000円<br>両日受講<br>19,800円 | 【講師】<br>かわかみ ひろひこ<br>(アレクサンダーテクニック講師)<br>中村 真之介<br>(ロルフイング講師)<br>【定員】30名限定<br>【注意事項】<br>お申込みは セミナー HP<br><a href="http://tohwaseminar.jimdo.com/bodywork/">http://tohwaseminar.jimdo.com/bodywork/</a><br>または ・氏名、・所属、・経験年数、・職種、・電話番号、・メールアドレスをご記入の上(lts-info@lts-seminar.jp)までご連絡ください。 |

会場：ウィリンク横浜 ゆめおおかオフィスタワー (<http://www.yokohamashakyo.jp/willing/s-14-1-1.html>)  
お問い合わせ：療法士活性化委員会 大塚 mail:lts-info@lts-seminar.jp

主催：療法士活性化委員会

# 理事会報告

## 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 2015年度第3回理事会報告

I. 開催日時：2015年8月18日(火) 19:00～21:30

II. 会場：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数及びその氏名

理事現在数：15名 定足数：8名

出席理事数：13名

出席理事：林 克郎、炭 孝昭、佐藤史子、惣田 洋、大槻かおる、相川浩一、小山理恵子、坪内敬典、相馬光一、山崎哲司、渡邊裕之、久保雅昭、久保木あずみ

IV. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数：3名

出席監事：井上 保

V. 出席事務職員氏名

出席事務職員：小野田誠子、石川久子

VI. 議長の氏名

林 克郎

VII. 議 題

第1号議題 新規事業および補正予算の承認について

第2号議題 会員の資格の取得の承認について（入会の承認）

第3号議題 (公社)日本理学療法士協会選挙管理委員の承認について

第4号議案 業務執行の決定について  
(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

VIII. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

議長が理事会冒頭で定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。

(2) 第1号議案 新規事業および補正予算の承認について

議長の求めに応じ、相川事務局長より新規事業および現事業の補正予算について説明があり、担当部署より補正説明があった。

ア 新規事業

(ア) 地域組織推進本部

(イ) 地域包括ケアシステム推進事業

(ウ) (県委託)介護予防従事者研修

イ 現行の事業の補正

(ア) 地域包括ケアシステム推進事業 会議費

(イ) 広報部 理学療法普及啓発キャンペーン 通信運搬費

(ウ) ウェブサイト管理部 ホームページの運営、情報掲載 委託費

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

(3) 第2号議案 会員の資格の取得の承認について（入会の承認）

議長の求めに応じ、相川事務局長より会員の資格の取得について、前回理事会からの入会者が246名、転入者が24名あったとの説明がされ、平成27年8月18日現在の会員数が4,691名との報告があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認された。

(4) 第3号議案(公社)日本理学療法士協会選挙管理委員の承認について

議長の求めに応じ、林会長より(公社)日本理学療法士協会選挙管理委員候補として、上杉上氏(横浜市立大学附属病院)を推薦することが報告された。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

(5) 第4号議案 業務執行の決定について

(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

ア 関連団体依頼事項の件

(ア) 相川事務局長より、以下の後援・協賛依頼があったとの説明があった。

a 神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター

「PT・OTのための土曜教室」後援

b 神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター

「股関節症のリハビリテーション」後援

c 神奈川県病院協会「第34回神奈川県病院学会」後援

d 神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター

「車椅子シーティングの理論と実際」後援

e 神奈川県糖尿病療養指導士認定機構

「第9回神奈川県糖尿病療養指導士認定機構研修会」後援

f 日本義肢装具学会「第31回日本義肢装具学会学術集会」後援

g 神奈川県栄養士会「専門職の食と栄養セミナー」後援

h 神奈川県保険医協会「第19回医療・健康フェスティバル」後援

i 神奈川県保険医協会「第18回循環器セミナー」後援

j 湘南リハケア実行委員会「湘南リハケア2015」後援

k 小児理学療法学会学術集会実行委員会「第2回小児理学療法学会学術集会」協賛

審議の結果、原案の通り出席理事全員一致で承認された。(イ)相川事務局長より、以下の会員推薦依頼があったとの説明があった。

a 神奈川県病院協会「第34回病院学会運営協力職員」

b 座間市「健康ざま普及員連絡協議会研修会」

c アルケア株式会社「おおいそ産官学連携事業」

d 平塚市庁内保健師連絡会「平塚市庁内保健師連絡会議全体研修会」

e 海老名市「介護予防・健康づくり出前講座」

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。(ウ)相川事務局長より、以下の会議室使用申請があったとの報告があった。

第2回小児理学療法学会(7月6日、7月28日、9月4日、10月1日)

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

イ 相川事務局長より、銀行口座通帳及びキャッシュカード紛失の経緯についての報告がされ、銀行口座通帳及びキャッシュカード貸し出し規程(案)が提案された。

審議の結果、特に規程は設けず、仮払い運用規定に追記することとなり、理事メールで確認後運用することになった。

ウ 相川事務局長より、神奈川県保健衛生表彰平塚市保健福祉所長表彰へ大島奈緒美氏(ふれあい平塚ホスピタル)神奈川県公衆衛生協会会長表彰へ炭孝昭氏(太田総合病院)神奈川県保健衛生表彰へ齋藤幸広(藤沢市民病院)を推薦したいとの提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

エ 相川事務局長より、仮承認済である以下の規程について説明があった。

(ア) 会員名簿管理等取扱規程





(イ) 事務所出入り口の鍵、セキュリティカードの貸出規程  
(ウ) 会議室運用規程  
(オ) 印刷業者選定規程

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

オ 小山学術局長より、会報第44号の印刷業者について、3社より見積もりを取った結果「㈱東京プレス」に印刷を依頼したいとの提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

カ 小山学術局長より、以下の提案があった。

(ア) 学会運営担当を医療領域12ブロックの輪番制にしたい。

(イ) アに基づき、次期学会運営担当ブロックを「横須賀・三浦ブロック」にしたい。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

## XI. 報告事項

### (1) 会長職務執行状況報告

林会長より、会長就任から昨日までの会長職務の執行状況が報告された。

### (2) 事務局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの事務局の執行状況が報告された。

(ア) 日本理学療法士協会への要望提出について

(イ) 発行文書・收受文書の管理について

(ウ) 6) 広報部より、執行状況が報告された。

(エ) ニュース編集部より、執行状況が報告された。

(オ) ウェブサイト管理部より、執行状況が報告された。

(カ) ライフサポート部より、研修会終了報告および執行状況が報告された。

(キ) 組織強化委員会より「第2回組織強化委員会拡大会議」の報告があった。

(ク) 災害対策委員会より、執行状況が報告された。

### (3) 学術局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの学術局の執行状況が報告された。

(ア) 臨床実習教育部より、執行状況が報告された。

(イ) 生涯学習部より、執行状況が報告された。

a 神経系理学療法領域講習会終了報告

(ウ) 学術誌編集部より、執行状況が報告された。

(エ) 研究支援部より執行状況が報告された。

(オ) 日本理学療法士協会より開催県公募のあった研修会についての報告があった。

(カ) 第34回神奈川県病院学会についての進捗状況が報告された。

### (4) 社会局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの社会局の執行状況が報告された。

(ア) 障害者スポーツ支援係より、執行状況が報告された。

a 2015ハマピック大会メディカルサポート

b 2015川崎市障害者スポーツ大会メディカルサポート

(イ) 公益事業推進部より、執行状況が報告された。

a 公共スペースでのキャンペーン (終了報告)

b ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド出展 (終了報告)

(ウ) リハビリ手帳作成委員会より執行状況の報告があったが、トライアル調査結果の報告がされていないので、早急に報告書を作成するようにと指摘があった。

### (5) 職能局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの職能局の執行状況が報告された。

(ア) 医療保険部より、執行状況が報告された。

a 研修会終了報告 (参加者31名)

(イ) 発達障害支援部より執行状況の報告があった。

(ウ) 環境支援部より、執行状況の報告があった。

### (6) 地域包括ケアシステム推進委員会業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの執行状況が報告された。

### (7) 第35回関東甲信越ブロック学会準備委員会執行状況報告

前回理事会から昨日までの執行状況が報告された。

# 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 2015年度第4回理事会報告

I. 開催日時：2015年11月17日(火) 19:00～22:00

II. 会場：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数及びその氏名

理事現在数：15名 定足数：8名

出席理事数：14名

出席理事：林 克郎、炭 孝昭、隆島研吾、佐藤史子、惣田洋、大槻かおる、小山理恵子、相川浩一、久保雅昭、久保木あずみ、内田賢一、渡邊裕之、山崎哲司、相馬光一、

IV. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数：3名

出席監事：君嶋武司、井上 保

V. 出席事務職員氏名

出席事務職員：小野田誠子、小林和美

VI. 議長の氏名

林 克郎

VII. 議 題

第1号議題 新規事業および補正予算の承認について

第2号議題 規程の承認について

第3号議題 会員の資格の取得の承認について (入会・転入の承認)

第4号議案 業務執行の決定について

(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

VIII. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

1 定足数の確認等

議長が理事会冒頭で定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。

2 第1号議案 新規事業および補正予算の承認について  
議長の求めに応じ、相川事務局長より新規事業および補正予算(案)について説明があった。

(1) 新規事業および補正予算

# 理事会報告

ア リハビリテーション専門職等介護予防指導者研修  
 (ア)30名×2日間×3回開催予定  
 (イ)補正予算は、修正されるが、運営は県からの補助金のみで行うため新たな支出はない。  
 審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

## 3 第2号議案

議長の求めに応じ、佐藤副会長より規程(案)について説明があった。

- (ア)表彰規程(案)
- (イ)名誉会員・顧問・相談役規程(案)
- (ウ)年会費割引規程(シニア割引を除く)(案)
- (エ)ブロック組織設置要綱(案)

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認された。

## 4 第3号議案 会員の資格の取得の承認について(入会・転入の承認)

議長の求めに応じ、相川事務局長より会員の資格の取得について、前回理事会からの入会者が15名、転入者が22名あったとの説明がされ、平成27年11月17日現在の会員数が4,650名との報告があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認された。

## 5 第4号議案 業務執行の決定について

(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

### (1) 2016年度(平成28年度)事業方針(案)の件

ア 林会長より、2016年(平成28年度)事業方針(案)について説明があった。

- (ア)組織率の低下防止のカギを握る講習会・研修会
- (イ)地域包括ケアシステムの推進を通じたブロック組織の定着化
- (ウ)事業運営経費の適正化
- (エ)事務局職員の増員
- (オ)第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会開催

審議の結果、原案の通り出席理事全員一致で承認された。

### (2) 第2回神奈川県介護人材確保対策推進会議の件

ア 林会長より、神奈川県介護人材確保対策推進会議での提案について説明があった。

追加意見については木曜日までに返事をする事になった。

審議の結果、原案の通り出席理事全員一致で承認された。

### (3) 各種団体からの依頼事項の件

ア 相川事務局長より、以下の後援依頼があったとの説明があった。

- (ア)第14回人工呼吸器セミナー：神奈川県臨床工学技士会
- (イ)脳血管障害の下肢装具について：神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター
- (ウ)第14回神奈川県介護支援専門員研修大会：神奈川県介護支援専門員協会
- (エ)かなりはフェスティバル2015：神奈川県総合リハビリテーションセンターリハビリテーション工学研究室
- (オ)脊髄損傷のリハビリテーション 実務編：神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター
- (カ)第3回在宅医療推進のための地域における他

職種研修会：横須賀市長

(キ)第5回神奈川県在宅医療推進フォーラム：神奈川県在宅医療推進フォーラム運営委員会

(ク)リハビリフェスタ2016：県西地区リハビリテーション連絡協議会

審議の結果、一部修正の上出席理事全員一致で承認された。

イ 相川事務局長より、以下の会員推薦依頼があったとの説明があった。

(ア)研修会講師派遣依頼：厚愛地区介護老人保健施設連絡協議会 推薦候補 下田栄次氏(あべ整形外科)

(イ)介護予防・健康づくり出前講座10月26日(月)：海老名市 鳥養珠美氏(今里リハビリテーション)

(ウ)政府広域医療搬送訓練における川崎市との連携訓練参加：大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

今川祐子氏(済生会横浜東部病院)・松田梓氏(川崎市中部リハビリテーションセンター)

(エ)横浜市南区在宅療養支援ネットワーク会：第2回総会一般社団法人横浜市南区医師会 久保雅昭理事・山崎哲司理事

(オ)平成27年度音楽療法研究所公開シンポジウム：昭和音楽大学音楽療法研究所 相川浩一理事

(カ)平成27年度介護人材確保対策推進会議運営等業務委員：かながわ福祉サービス振興会林克郎会長

(キ)地域リハビリテーション活動支援事業(モデル事業)：横浜市健康福祉局 久保木あずみ理事・千葉桂氏(介護老人保健施設ウエルケア新吉田)・中村崇氏(高田中央病院)・石川美和氏(横浜市総合保健医療センター)・井田真人氏(大倉山記念病院)・山田貴之氏(社会福祉法人秀峰会)・清水陽平氏(介護老人保健施設コスモス)

(ク)神奈川県立旭高等学校「職業人講話」講師派遣：株式会社さくらノート 桑原奈菜氏(鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院)

(ケ)ラジオ番組「ハグ・ザ・ライフ」への出演：コミュニティラジオ局エフエム戸塚 林克郎会長

(コ)介護予防・健康づくり出前講座2016年2月12日(金)：海老名市 鳥養珠美氏(今里リハビリテーション)

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。  
 ウ 相川事務局長より、以下の会議室使用申請があったとの報告があった。

(ア)小児理学療法学会準備委員会(10月13日(火)、10月30日(金))

(イ)神奈川県サッカー協会トレーナー担当部会(10月18日(日))

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。  
 エ 相川事務局長より、FAX通信の使用について説明があった。

(ア)ブロック化について会員と施設への周知を早急に計る必要があるため、HPへの掲載と合わせ資料が出来次第送信予定

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。



- オ 相馬理事より、会員の処遇改善について説明があった。  
公益事業参加会員への講習会・研修会等の受講を履修ポイント付与する。  
審議の結果、付与回数に関しては次回とし出席理事全員一致で承認された。
- カ 佐藤副会長より、表彰者のニュース掲載についての運用方法の提案があった。  
今回は本人の希望を尊重し、記録としては残す方向で写真撮影し、掲載しない場合はその旨を掲載する事になった。  
審議の結果、一部修正し出席理事全員一致で承認された。
- キ 小山学術局長より、平成28年度理学療法講習会について説明があった。  
(ア)次年度より協会から本会での運営となるため本会の規程で運用する事になる。  
(イ)3施設6本の申請があり、各施設で検討修正のため本会への申請提出期限を延長した。  
(ウ)協会の事前申込については、利用する方向審議の結果、一部修正し出席理事全員一致で承認された。
- ク 内田理事より、第34回神奈川県理学療法士学会について、説明があった。  
(ア)平成29年3月12日(日)にパシフィコ横浜3階貸切で仮予約する。  
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。
- ケ 久保木理事より、介護保険部の来年度の事業について説明があった。  
(ア)現行の研修会を学術局へ移管することで、介護報酬関係の対応等と介護保険事業所に対する調査等の事業へ移行。  
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。
- コ 久保木理事より、環境支援部PT・OTスキルアップ研修会上級編受講者へのアドバンスコース企画について説明があった。  
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認された。

## XI. 報告事項

### (1) 会長職務執行状況報告

林会長より、会長就任から昨日までの会長職務の執行状況が報告された。

### (2) 事務局業務執行状況報告

- 前回理事会から昨日までの事務局の執行状況が報告された。
- ア 事務局  
(ア)平成28年度予算(案)編成について
- イ 総務部  
(ア)賛助会員意見交換会について  
(イ)新人オリエンテーション平成28年4月17日(日) 旭区公会堂(横浜市)で開催  
(ウ)平成28年度総会平成28年6月12日(日) 予定
- ウ 広報部  
(ア)広報物品の使用範囲と使用決定について報告された。  
(イ)理学療法普及啓発キャンペーン広報について報告された。
- エ ニュース編集部より、研修会・講習会規程についてニュース掲載は、本会主催のみとし他団体はHPに一歩を本化を検討中と報告された。
- オ ウェブサイト管理部より、Facebook対応を検討中と報告された。

- カ ライフサポート部より、第51回日本理学療法学会大会への演題申込みが報告された。
- キ 組織強化委員会より、平成28年度の組織強化委員会の方向性について報告された。
- ク 災害対策委員会より、学会開催時にエリアコーディネーターを集めた会議を予定と報告された。  
会議費が不足の為、ライフサポート部予算流用予定と報告された。
- ケ その他 表彰時の本会对応について報告された。
- (3) 学術局業務執行状況報告  
前回理事会から昨日までの学術局の執行状況が報告された。  
ア 新人教育部より、12月6日(日)第3回新人教育プログラム研修会を開催すると報告された。  
イ 臨床実習教育部より、次年度企画の検討について報告された。  
ウ 生涯学習部より、10月25日(日)リーダー研修会を開催した事が報告された。  
エ 学術誌編集部より、会報について執行状況が報告された。  
オ 学術大会部より、執行状況が報告された。  
(ア)横須賀三浦ブロック担当の第34回神奈川県理学療法士学会の次期学会長の選定作業に入る予定  
(イ)登録演題数 106演題
- カ 研究支援部より執行状況が報告された。
- キ その他  
(ア)12月23日(水)認定必須研修会について、受付定員増員が報告された。
- (4) 社会局業務執行状況報告  
前回理事会から昨日までの社会局の執行状況が報告された。  
ア 障害者スポーツ支援係より、車椅子バスケットボール日本選手権関東ブロック予選会場が神奈川県から千葉県へ変更のため、今年度のサポートは未実施となった。  
イ リハビリ手帳作成委員会より、県西ブロックでの試験運用結果が報告された。
- (5) 職能局業務執行状況報告  
前回理事会から昨日までの職能局の執行状況が報告された。  
ア 職能局より、職業人講話の報告  
イ 介護保険部より、11月22日(日)横浜リハビリテーション専門学校にて実務者研修開催予定
- (6) 地域包括ケアシステム推進委員会業務執行状況報告  
前回理事会から昨日までの執行状況が報告された。  
ア 推進リーダーアドバンス研修会 11月26日(木)開催予定  
イ 地域支援事業研修会 2月26日(金)開催予定  
ウ 神奈川県介護予防従事者研修会 11月28日(土)～29日(日) 横浜国立大学で開催予定  
エ 地域ケア個別会議に関するモデル研修への参加が報告された。
- (7) 林会長より、10月31日(土)開催されたブロック代表者会議について報告がされた。
- (8) 佐藤副会長より、11月8日(日)に開催された平成27年度組織運営協議会(日本理学療法士協会)の報告がされた。

**がんの治療に幅広く  
対応した、アフラック  
のがん保険。**

生きるための  
がん保険 7 Days

NEW!  
がんを経験された方へ  
生きるための  
がん保険  
寄りそうDays



はじめてダック

お問合せ先

募集代理店  
**国際保険株式会社**  
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

**0120-5931-98**

引受保険会社  
**Aflac**

首都圏総合支社  
東京都新宿区西新宿1-23-7  
新宿ファーストウエスト17F  
Tel.03-3344-1580

**重大疾病<sup>※</sup>にも強くなった。**

※「がん・脳卒中・急性心筋梗塞」(三大疾病)のことを指します。

NEW  
ちゃんと応える  
医療保険  
NEVER

NEW  
ちゃんと応える  
医療保険  
NEVER

〈特約を付加した場合〉





# Gift

オリジナルカーシート  
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社  
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31  
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では  
**福祉用具レンタル・販売**  
も取り扱っています




<http://nwc-kurumaisu.com/>


横浜そごう9階

60歳以上の高齢者単身・夫婦世帯が安心して居住できる賃貸住宅


## サービス付き高齢者向け住宅のご紹介

～神奈川県内200件以上より、健康にお暮らし頂ける住宅をご提案～

**0800-888-6186**      【営業時間】10:00～20:00




高齢者住宅募集センター



神奈川ロイヤル株式会社

ロイヤルハウジンググループは  
全社をあげて

小さな親切  運動 展開中!!

## あなたの生活をサポートします










### (有)木村義肢工作研究所

横浜市栄区空間三丁目40番5号 TEL045-892-5424 FAX045-894-2560  
<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

## 賛助会員の紹介



### (有) 木村義肢工作研究所

〒247-0006 横浜市栄区笠間三丁目40番5号

弊社は、義肢・装具・座位保持装置・車いすなどの補装具全般の製作・適合業務を行っております。

また、介護保険におけるレンタル業者（日本ケアサプライ/アビリティーズ）も行っております。

一人ひとりのニーズに合わせて、身体に障害をもっている方が安心して日常生活を送ることができるように、補装具、福祉用具の製作・適合に取り組んでおります。

最近のトピックスとしては、訓練用の装具として注目を集めている「ゲイトイノベーション」「フロント」など最新の装具も取り扱いしております。

## information



### 総 会 告 示

#### 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 第37回定時総会

日 時：平成28年6月12日(日) 9時30分～10時30分 (9時より受付開始)

会 場：横浜リハビリテーション専門学校 8階講堂

横浜市戸塚区品濃町550-1 (JR横須賀線 東戸塚駅下車 下記地図を参照)

※総会に出席できない場合は、必ず委任状が議決権行使書を提出してください。

※総会資料・会員証は、必ずお持ちください。

#### 総会時講演

日 時：平成28年6月12日(日) 10時30分～12時30分

講 演：10時30分～12時00分

質疑応答：12時00分～12時30分

テーマ：『平成30年医療介護報酬同時改定に向けて』（予定）

講 師：公益社団法人 日本理学療法士協会 会長 半田一登 先生

\* 総会および総会時講演出席者には該当する下記のポイントが付与されます。

- 1) 専門理学療法士ならびに認定理学療法士資格取得および更新に関わる履修ポイントの“都道府県士会主催の講習会・研修会 10ポイント”すべての領域に該当します。
- 2) “地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度”の本会指定事業になります。
- 3) 新人教育プログラム C-7 士会活動・社会貢献に該当します。





## 日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願います。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

\*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

\*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

### 【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会  
事務局長 相川 浩一

## 楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

\*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

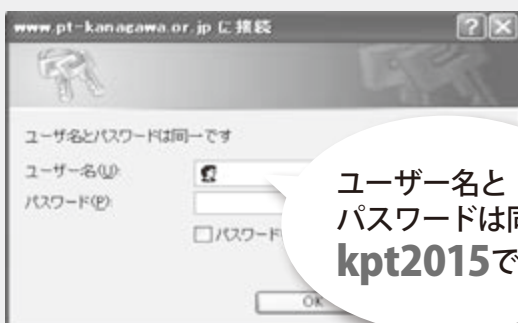
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

\*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会  
事務局長 相川 浩一

## アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

# スポーツ現場 の 独り言 (8)

## 言葉のテクニック： 選手と信頼関係を築くためには

今回はスポーツ選手とコミュニケーションをとる際に私が気を付けている点についてご紹介したいと思います。

なぜこのようなテーマを選んだかと言いますと、実はある講演が終わった後にいただいた質問に上手く答えられなかったからです。その質問は、「先生はどうやって選手と信頼関係を築いているのですか？」というものでした。私もともとアドリブには弱いので、なかなか瞬発的に気の利いた返答ができないことも多いのですが、このときは「あまり深く考えてないなあ」としか答えられませんでした。当然、信頼関係を築くことを直接の目的として仕事しているわけではないのですが、とはいえ振り返ってみると確かに選手から信頼はされているような気がします。ではどういうところに気を遣っているのか、選手に対しての「声かけ」という観点で改めて考えてみました。

まず、病院内であろうが院外であろうが、我々理学療法士は診断できません。しかし、いくつかの可能性についての提案はできていると思っています。たとえば、Aのやり方でリハを進めていくケースとBのやり方で進めるケースという選択を迫られるケース、ありますよね？こういう場合、どちらも一長一短で良いとか悪いとかいう次元の話ではないことが多いですね。

こういう時に、僕はその一長一短の具体的な可能性について明確に提示するようにしています。そして、それを理解したうえで本人に選択は任せます。そうすることで、自らの選択に責任を持って、言い訳ができない環境が整うと考えているのです。

同様に、選手と接するときはなるべく具体的な指示をするように心がけています。例えば、スポーツ選手に対して「頑張れ」は禁句です。スポーツ選手がみんな頑張っているのは当たり前。ですから頑張れという言葉はアドバイスとは言えません。どこをどう頑張るかを説明するのが指導だと思っています。

具体的に「しっかり肘を伸ばす」とか「ちゃんと膝を曲げて」とか「ピッチを上げろ」とか「足で蹴る」とか、そういう分析に基づいた明確なアドバイスをすることが指導者という立場では必要だろうと考えています。

何気ないご質問が、改めて普段考えていないことを再考する良い機会になりました。スポーツ現場で理学療法士として活動する意義は、動作分析に基づいた明確なアドバイスにあると思っています。これをいかに選手やコーチに伝えるか。スポーツの現場は勝ち負けがはっきりしていますから、当然我々にも明確な意見を求められます。コミュニケーション技術の良し悪しで、信頼を得られるか否かが左右されることも確かにあるなあと振り返って考えています。

(公財) 日本水泳連盟 小泉圭介



## 編集後記

三月に入り早春を迎え、梅や河津桜が咲きはじめ殺風景な街の様相も華やかになってきました。気温も緩み始め服装も徐々に身軽になり、なんとなくウキウキした心持です。(この文章は三月三日のひな祭りに書いています)

私の勤め先は理学療法士の養成校ですので、後期試験や国家試験も終わりやっと忙しさのピークと緊張感から解放されたところ です。

「一年の計は元旦にあり」と言われますが、学校はこれからの新年度に向けて本格的な準備が始まりますので、私にとっては4月が「一年の計」に当たります。

人生の半分以上を過ぎますと、ますます時間の大切さを実感します。丁寧に生きていかなければという思いで4月までのこの時期に自分を振り返り、目標に向けて邁進したいと思 います。

各病院や施設の皆様も4月に入り、新たな保険点数の問題や新人の入職やらとお忙しいことと拝察いたしますが、忙しいばかりでは時間だけが過ぎて行きます。新たな目標を立てるのに良い時期だと思 います。皆さんがお持ちの大きな夢や小さな夢に向かって、ちょっとずつ頑張れば良いのではない でしょうか。この1年が皆様にとって有意義に過ごせますよう願っています。

(坪内敬典)

次号の原稿締め切りは平成28年6月6日です。  
国際医療福祉大学小田原保健医療学部(ニュース編集部宛)  
**news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp**  
(原稿は添付ファイルをお願いいたします)

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお 願いいたします。

### ◆ニュース編集部員◆

担当理事：坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)  
部長：渡邊観世子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)  
部 員：今井 祐子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)  
金子 達也 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)



# SP-i

## 義肢・装具・整形靴・特殊靴など

### 製作から修理、調整等

# 湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>